

2009年度 東京医科歯科大学 医・歯 前期 英語

1) c d e a b c e b a d

2) 1)items 2)the researchers (Clayton and Emery) 3)worms 4)hiding behaviour
5)experience projection

3) 1)T 2)T 3)F 4)F 5)F 6)F 7)T 8)F 9)F 10)F 11)T 12)T 13)T
14)T 15)T 16)F 17)T 18)F 19)T 20)T 21)F 22)F 23)T 24)F

4)

- 1) A human observer might think that hiding food twice is unnecessary and a waste of the jay's time.
- 2) When they hide food in the presence of another bird, scrub-jays choose places which are hard to see.
- 3) They mate for life, display less hiding behaviour in the presence of their mate, and protect their mate's cache.

5)

- (ア) そう聞いても大して利口には思えないかもしれないが、これは、カラスが他の個体の視点で物事を見ることができるのかもしれないということを示唆する。
- (イ) 特定のもものが隠されるのを他のどの鳥が目撃していたかを覚えていれば、蓄える側が自らの隠したものを守る能力を高めることになるだろう。

解答例 1

カラス科の鳥が食物を後で別な場所に隠し直すことがあるのは、盗まれるのを防ぐためであるらしいことが、近年の研究によって明らかになった。この鳥は、隠すところを見られた場合に隠し直す傾向にあり、見られている場合には相手から見えにくい場所を選びたがるという。また、個体を識別して記憶しており、見ている相手によって行動を変えるという。以上のことから、これまで類人猿特有とされてきた、他者の視点からものを見る能力、他者の意図を理解する能力をこの鳥たちが持っていると考えられる。さらに、盗み経験のある鳥が隠し直しを行うことから、過去の経験を投影するという、人類固有とされてきた能力があるとも考えられる。(294 字)

解答例 2

カラス科の鳥は他者が居る場所で食べ物を隠した場合、後で隠し場所を変える。隠す時に他者の視線を意識していることから、他者が視覚を通して外の世界を認識することを理解している。また他者を個別のレベルで記憶し認識できているようだ。

カラスはこういった能力を人間と同様社会的な相互作用から身につけた。つまり隠す側と見つける側の双方の立場を理解し、盗む経験を盗まれなくする戦略に活かしている。これは本能ではなく、人間固有とされた経験を投影して他者の行動を予測する能力だ。他者の視点を持てるのは類人猿だけの能力とされてきたが、他者との競争という圧力の中、鳥類も我々ほ乳類とは別個に社会的知性を進化させたようだ。(297 字+改行分)